

	放送大学茨城同窓会会報 ときわ	発行所 放送大学茨城同窓会 (茨城学習センター内) 〒310-0056 水戸市文京 2-1-1 (茨城大学内) 発行人 会長 葛貫 壮四郎
	2007.3.15現在の同窓生数:254名、本会 会員数:80名) 同窓会 Web ページ http://www.it-doctor.jp/dousokai_blog/	

今年是全国に向けて扉の開かれた年でした

新年度に向けて

会長 葛貫 壮四郎



会員と共に演奏する会長(左端)

茨城学習センターが発足して、初めての卒業生が平成11年3月に生まれ、現在では、年に約40名の卒業生が誕生しております(平成18年3月までで、247名の学士、7名の修士)。

茨城同窓会は、2001年12月に発足以来、5年が過ぎ、6年目になります。会員数も80名余りになり、少しずつですが、増加しつつあります。しかし、組織率では、まだまだ、不十分と思います。

さて、昨年を振り返ってみますと、最大のイベントは、第18回生涯学習フェスティバルにおいて、茨城学習センターが中心になり、放送大学フェアが開催されたことです。茨城同窓会では、会員の皆様のご協力



により、1)蕎麦打ち、2)野点、3)邦楽演奏、



4)パネル展示、
5)アンケート調査を実施し、成功裏に終了しました。

また、加澤弘大様(放送

大学生)のご協力により、笠間焼き体験会を実施し、作品を楽しく作りました。昨年の年末には、他のサークルと合同で、忘年会を実施しました。

本年の活動目標は、下記の3つを中心したいと思います。

1)会員同士の交流を活発にして、楽しくて意義のある同窓会を目指します。

2)学習センターおよび、他サークルと連携し、各種行事を実施します。

3)卒業生の茨城同窓会への加入を促進します。また、同時に、放送大学の学生募集にも協力します。

放送大学フェアの益金を

放送大学フェアにおいて、同窓会を始め、各サークル団体が模擬店を出し、材料などの経費を除いて、益金がありました。

各サークルにおいて、益金の取り扱いを協議し、茨城新聞社を通じて寄付(寄付金:25,574円)することになっていましたが、2006年12月19日に寄付を完了しました。

茨城同窓会では、蕎麦の収益金16,399円から茨城大学の野点グループ(多大な協力を頂きました)への謝金5,000円を差し引いた、11,399円を寄付しました。

なお、茨城新聞社に届けた代表者の方は、英会話サークル代表:石川さん、PCクラブ代表:川村さん、ふるさと探勝会/茨城同窓会代表:葛貫の3人です。2006/12/28の

茨城新聞に、まなびピアの模擬店の益金を「歳末助け合い募金」として、記事が掲載されました。

行事だより

笠間焼き陶芸体験

副会長 大川 侑希子



9月18日土砂降りの雨にもめげない12名が参加、10時に加澤弘大氏(放送大学在学)のロクロでの作品作りを見せていただいた後、手ひねりの指導を受け、12時までおしゃべりを交えながら皿、花瓶などそれぞれの作品作りに専念する。終わって外に出た時には雨は止み次のスケジュールにおあつらえ向きの天候になっていた。

芸術の森まで移動し、ものみ茶屋の貸切りの部屋で仲間だけの話に花を咲かせながら、フランス料理を堪能した。その後は陶芸の丘で人間国宝松井康成の作品をため息をつきながら見学する。施設内部もを見せていただく。(もちろん加澤氏の丁寧な解説つきで)作品は約1ヵ月後彩色されたつぷり上薬を塗って出来上がり、大学に届けられた。費用は食事代を含めず1,500円であった。詳しい内容については、茨城同窓会のホームページをごらん下さい。



新入会者ご紹介

茨城同窓会へ下記の2名の方から入会申し込みがありました(H18.9卒業生)。

氏名	住所	専攻
平田 英世	東海村	生活と福祉
青柳 智和	水戸市	生活と福祉

早速、お二人に卒業当たりの感想文をいただきました。

我思う、なぜに生涯学習

生活と福祉卒 青柳 智和

さて、何ゆえ私は放送大学に入ったのでしょうか？勉強は好きか？まあ、嫌いではない。では、勉強はできたか？・・・できない。

まあ、そんなものだろう。18歳で高校を卒業し、准看護学生として週に3日学校、3日勤務という2年間を過ごし、その後、夜間の定時制の看護学校に入った。そもそも男性である私が看護学校に入った理由は、高校生時代にアルバイトばかりしており、さまざまな職種を体験し、社会に出るには「何か」を学ばなくてはいけない。でも、仕事もしたいという理由で職探しをしたら「看護師」が見えてきたという経緯である。何の仕事もそうだろうが最初の2年間は准看護師試験、次の3年間は看護師試験を目指して常に勉強していた。

そして、看護師となってからも専門の資格を取るための勉強があった。全て延長線上であったが、私達の仕事の対象は患者さん、いわゆる「人間」である。専門馬鹿になってはいけないと感じ、広く知識を求め、見つけたのが放送大学である。仕事をしながらの単位取得は楽ではなく、当初は「自然の理解」を専攻したが全くついていけず、結局は得意分野の「生活と福祉」に鞍替えはしたものの、非常に有意義な5年間であった。特に共通科目は必須なのでそれほど興味が無くても単位を取得しなければならない。単位を取得するには勉強が必要であるが、これがやってみると結構面白い。今まで持っていた知識の幅がぐんと増えるのがわかり、普段の仕事にも大いに役立った。ついで、放送大学の最大の魅力は「面接授業」だろう。実は、最初は面倒だと思っていた。「2日間かよ・・・」足取り重く出席して、いざ受講すると面白い。高校のような与えるだけの授業ではなく、多くが「参加型」であった。覚えるというよりは、「考える」そんな

時間を過ごした。

良く考えると日常生活は、「不思議」だらけ。その不思議に気づかせ考えさせてくれた。休日に教鞭をとってくれた教授陣に感謝したい。今は、目の前の仕事に夢中になっている。与えられた仕事だけが仕事ではない。物事を意識して考え、自分なりの答えを出して生きたい。そして、また知識欲が出てきたら放送大学に再入学して自分の器を大きくしたい。そう考えています。不自由なく、学べる自由をかみ締めて生きたいですね。あ、幽霊メンバーですがパソコンサークルと英会話サークルにも入っていました。ほんの少ししかいけませんでした。こちらも非常にためになりました。お時間に余裕のある方、おススメです。

5年半を振り返って

生活と福祉卒 平田 英世

40年近く電機関連の会社で設計業務に携わり社内ではそれなりにその道のプロとして通用していたが一步門の外に出れば自分の経験、知識が社内だけのもので世間一般からみれば「井の中の蛙」でありなんと偏狭で、乖離しているかある会合の席で痛感した。少しでも世間一般に通用する知識を得たい。これが放送大学に入学した直接の動機である。

生涯学習の時代とはいえ、この歳になって全科履修に挑戦するのはかなり臆するものがあつた。まじめな勉強は数十年ぶりであり、はたして無事に目的を成就できるのか、規定の単位をクリアできるのか、そのためには相当な努力が必要であろう。早くも考えただけで肩の張る思いであった。家族に励まされたこともあり(家族にしてみれば日々トドのようにゴロゴロされるのが嫌だっただけかも知れない)肩肘張らない様に余裕をもって修学年数は6年を予定し、理解しやすいように数学的理論も少なく自分自身もいづれ通る道の糧となるように生活福祉課程を専攻した。初めて教科書を開いたときなどは嫌いな料理に箸をつけるような気の進まない気持と、空しい気持と、早く好きになろうという前向きな気持と、この歳になって何で勉強なんかするんだ、といった複雑な気持が交錯したことを覚えてる。

放送大学の気楽なところは専攻課程の所定の単位を取得すれば残りの単位は好きな課目を選定できる事で、本来好きな自然科学系にも寄り道できた事が気分転換にもなり励みにもなった。もともと頑張らない性分で肩肘張るのは嫌いなこともあり、家族にはズボラといわれていることがかえって長続きする元になっていたのかもしれない。

私のような高齢者でも勉学は趣味の延長線上にあると割り切れればさして努力などしなくても知らぬうちに所定単位をクリアでき、5年半は短かったという達成感が味わえたわけでこの事実は人生の一つのエポックとして記録に留めたい。

しかしながらこれらの知識、経験を今後の人生にどのように生かして行くか?ここでまた新たな問題を抱え込んだ感じがする。

真壁の雛祭り

発達と教育卒 市川 岩男

石岡駅に集まったふるさと探勝会の一行20名は3台の車に分乗して、西に横たわる高くもないキノコ山の南面に切り開かれた狭く、そして何十にも曲がりくねった県道19号線で上曾峠を越え約一時間走って着いた町が真壁町である。現在は、市町村合併の煽りで桜川市になっていた。

市の真壁町支庁舎を振り出しに三グループに別れて町を探索的な散歩で何処をどう歩いたか思い出せない。一番最初に出会ったのは、明治・大正初期に作られた雛である。上段の内裏に日本古来の古式豊かな衣裳姿で座した雛は、顔が西洋人に近く、中段の雛は面長で鼻が高く、髪は完全に断髮的な洋髪型で、東洋離れのした顔立ちに丸袖の日本着物を着て立ったままの姿で飾られていたのには思わず興味を引かれた。

また、全体がこじんまりした室内の場所をとらない形式は、多分外人向け土産に作られたか、当時の日本全体が欧米崇拜の欧化を好む時代を表現しているかのようにも見えた。これが大正から昭和にかけての時代で大正デモクラシー時代と称し、モボ(モダンボーイ)やモガ(モ

ダンガール)が世を風靡爛熟し、自由と平和の世相が広まり日本着物を着たアメリカ女性の雛人形までもが生まれたのではないかと思う。その頃にニューヨークの株価暴落が起き、日本に経済不安を呼び、軟弱世相に反感を持つ硬派の若者や一部の陸軍軍人、国粹主義者等が頭角を現わし始めてきていた。

町を歩くにつれて通りの商店や住宅軒下に飾られた雛は昭和に入ってから丸顔に着物を着せられた日本的姿が多くなった。先に話した通り、この頃から日本は徐々に民族意識高揚の時代に移行しているのが人形の時代変化からも伺われる。今になって回顧すれば日本人は時代の変化や流行、舶来物に敏感で、だが短気で物事に時間を掛けてゆっくりと思考する習慣が身につけて居ない国民で、それに加えて自国の地歴史は、勿論、世界の歴史や事情を熟知していないのが雛の時代変化にも現れ出たのだろう。

さらに思い出したが、昔から雛供養と云う古い人形を集めて焼く行事をTVなどで関係者等によって寺で行われている姿を見るが本当に勿体ないと思う。多分売るための手段であるから惑わされないように、雛人形の変化の歴史を残す上からも大切ではと内心思った。

このように雛人形の衣裳や顔立ちにも時代の変化が見られるのは良き収穫であった。そして見るだけで楽しい真壁の雛祭りの探勝会でした(2月25日参加)。



茨城同窓会総会案内

茨城同窓会の総会を下記のように実施します。会員の皆様には、ご参加下さるようお願い申し上げます。

記

1. 日時
2007年4月15日(日)13:00~15:00
2. 場所
茨城学習センター 会議室
3. 議題
2006年度活動報告
2006年度収支決算報告及び監査報告
2007年度活動計画(案)
2007年度収支予算(案)

お願い事項

1)同窓会会費納入のお願い

同窓会発足当時の会員皆様方に、会費の納入のお願いを送付しておりますが、まだ、未納の方は、お手続き下さるようお願い申し上げます。会費は、5年分で5,000円の一括納入になっております。もし、振り込み用紙を無くされた方は、下記郵便口座まで振り込みいただくようお願いいたします。

- ・ 口座記号-口座番号:
00160-1- 355969
- ・ 加入者名:放送大学 茨城同窓会
- ・ 金額:5000円

2)メールアドレス更新のお願い

茨城同窓会用のメーリングリストを運用中ですが、未配信アドレスが多くあります。メールアドレスを変更された方は、会長宛までお知らせ下さい(s-kuzu@doctor.email.ne.jp)。なお、メールアドレスは、ご自身でも変更可能です。

現在の学生像(アンケート調査)

放送大学フェアに向けて、同窓会並びに学生の皆様から110名のアンケートを頂戴しました。ここに、お礼申し上げます。アンケート結果は、別刷りのページを参照下さい。

編集後記

暖冬故に、梅の開花が早いとか。移ろいやすい季節を思い悩むより、じっくり会報とお付き合い下さいます様お願いいたします。

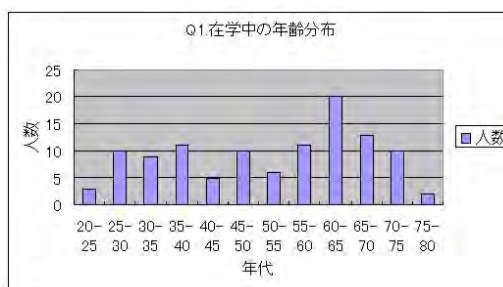
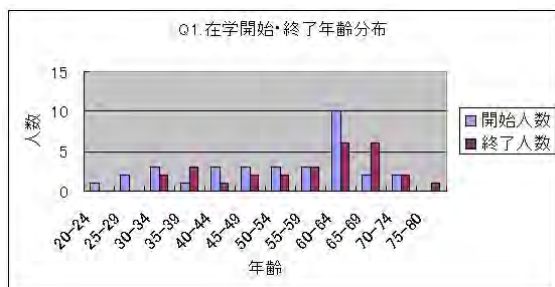
新会員の方から、ご寄稿いただきました。ありがとうございました。(猪膝・大川・高木)

アンケート調査に見る茨城学習センターの学生像

放送大学茨城学習センター 茨城同窓会

Q1: 年齢構成

- (1) 在学開始の平均年齢は、51歳、卒業(終了時)の平均年齢は57歳です。すなわち、平均的に6年で卒業できている。
- (2) 定年到達直前の55～60歳がピークで、放送大学が学びの第2のスタートにもなっている。
- (3) しかし、年齢的に20代の若い人から仕事ばりばりの40代まで平均的に分布している。放送大学は、正に、仕事をしながら、学んでいるのが分かる。



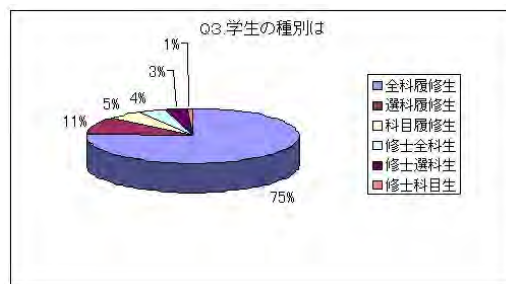
Q2: あなたの性別は

- (1) 女性(47%)に比べ、3ポイントだけ男性が多い(53%)。この傾向は、茨城だけのものでしょうか。



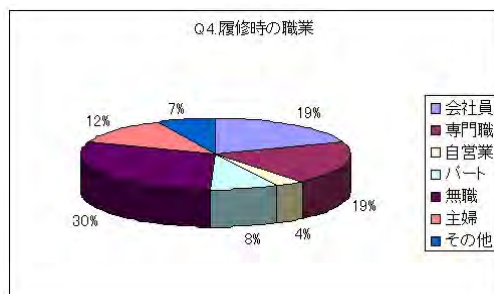
Q3: 学生の種別は

- (1) 圧倒的に全科履修生が多い(75%)。
- (2) 選科履修生は11%、科目履修生は5%と、放送大学は、卒業は目指さないが、面白そうだから、一寸勉強して見たいという人のニーズに応えているものと思われる。
- (3) 今後は、更に学習を深めたいという修士生の比率が多くなって来るとと思われる(現在修士生合計: 9%)。



Q4: 履修時の職業

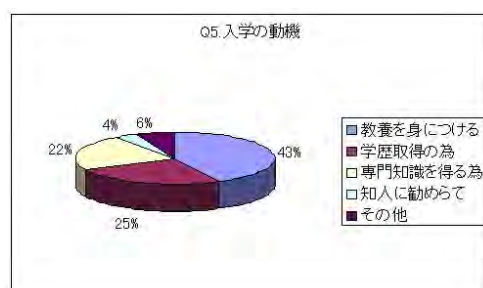
(1) 在学中の年齢分布と性別からもわかるように、定年到達時期の人の履修が多いため、無職の人が、30%と多い。



Q5: 入学の動機

(1) 「教養を身につける」が圧倒的に多い(43%)。

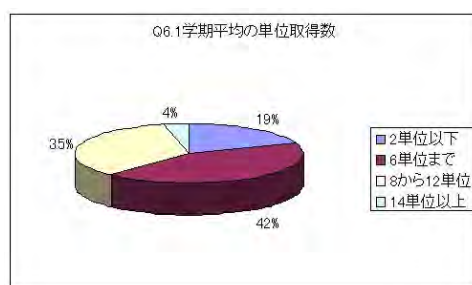
(2) 次に、「学歴取得の為(25%)」、「専門知識を得る為(22%)」が続く。



Q6: 1学期平均の単位取得数

(1) 6単位(3科目)まで取得数が圧倒的に多い(42%)。

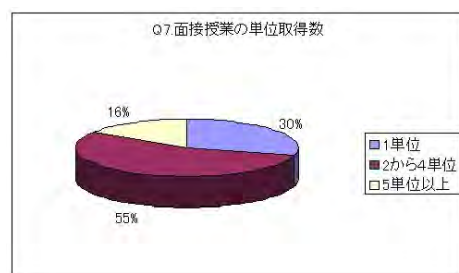
(2) 次に、8~12単位(4~6科目)取得数が、35%と続く。



Q7: 面接授業の単位取得数

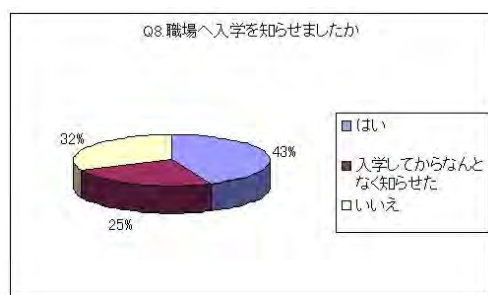
(1) 2~4単位が半数以上である(55%)。

(2) 5単位以上取得者が16%もいる。他の学習センターの面接授業も積極的に受けていると思われる。



Q8: 職場への入学を知らせましたか

- (1) 入学後、職場に知らせた人は 43%、入学後なんとなく知らせた人が 25%の合計で 68%の人が、放送大学生であることを職場に知らせている。
- (2) 一方、職場に知らせていない人も 32%いる。



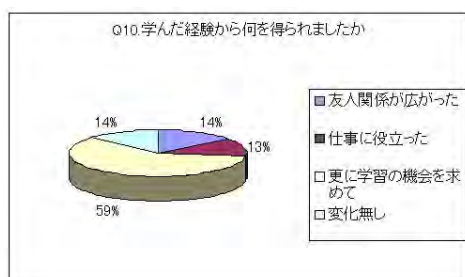
Q9: テスト等の休暇は取れましたか

- (1) 半数以上の人にはテスト等の休暇はとれている (54%)。
- (2) しかし、とれない人(8%)、休日科目の選択した人(38%)も多く、仕事を持っているとなかなか休暇がとれないのも事実である。テストを Web で行うなどの工夫が必要と思われる。



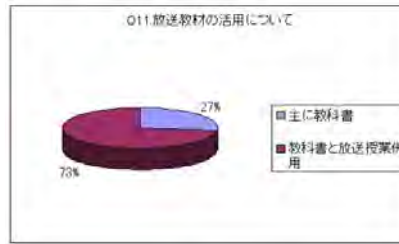
Q10: 学んだ経験から何を得られましたか

- (1) 「更に学習の機会を求めて」が 59%を多い。放送大学が生涯学習になっていることが伺える。
- (2) また、友人関係が広がったり(14%)、仕事に役立ったり(13%)と学びの効果が現れている。



Q11: 放送教材の活用について

- (1) 教科書と放送授業併用が圧倒的に多い(73%)。
- (2) しかし、教科書のみで、学んでいる人もいる (27%)。教科書が充実しているので、これも放送大学のよいところかもしれない。



Q12: 学習の回数について

- (1) テストを受けるときに、教科書などを1～2回学習する人が、71%である。
- (2) 3回以上を学習する人も29%いる。
- (3) 年代別に学習回数を分析すると、若い人は、1～2回の学習で、60代以上では、3回以上の学習の割合が増えてくる。記憶力の衰えを学習回数でカバーしていると思われる(下記参照)。

年代	1-2回学習	3回以上学習
21-30	13(87%)	2(13%)
31-40	17(89%)	2(11%)
41-50	10(71%)	4(29%)
51-60	11(65%)	6(35%)
61-70	17(53%)	15(47%)
71	5(83%)	1(17%)



Q13: 学割を利用していますか

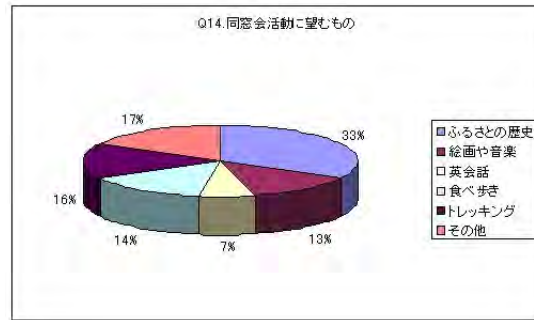
- (1) 利用している人は30%で、ほとんどの人は利用していない(66%)。
- (2) 分からなかった人も4%いる。
- (3) 利用内容は、JR 利用が多い。そのほか、映画利用、携帯利用(AU)、ソフト購入利用、美術館利用、卒業論文作成利用などがある。



Q14: 同窓会活動に望むもの

- (1) 多い順に、ふるさとの歴史(33%)、トレッキング(16%)、食べ歩き(14%)、絵画や音楽鑑賞(13%)、英会話(7%)である。
- (2) 茨城学習センターには、ふるさと探勝会、英会話サークルがあるので、こちらの行事に参加することも可能である。
- (3) その他の意見として、
 - ・同趣味同士での勉強会、定期的な講師の講演
 - ・茶道、フラダンス
 - ・情報交換、情報提供、勉強会、講演会

- ・文学散歩
- ・網野史観に基づく茨城の歴史
- ・県歴史館や筑波研究学園都市の専門機関をより深いレベルを探求するような活動
- ・心理系があるとよい
- ・放送大学の啓蒙活動
 - ・できれば活動は、Weekday をお願い



以上

放送大学への要望、意見

- (1) せっかく同じ大学で学んだので、卒業後の繋がりを大事にしたい。
- (2) 学習センターまでの距離があるので参加が難しい。でも、それだけ、ふむふむを楽しみにしている。
- (3) レポート(通信)にて単位取得したい。その後、スケジュールに従い、面接授業としたい。
- (4) 認定試験時、車で行ける会場を望みます。
- (5) 老人学生は、青年時代に事情で憧れの学生生活を味わっていないので、学業の他にそれを楽しみたい希望が強く学生をやっている。普通の大学に近い形での生の教授を受けたく、また、学生生活を楽しみたい。その方向に力を入れるともっと学生が増えるであろう。顔の見えない学習は物足りない。
- (6) 交流の場をできるだけ作って下さい。
- (7) TV の再視聴室(学習室)の照明が暗いのではないかと思います。また、できれば専門書を増やして下さい。
- (8) 都内の面接授業がなかなか受からない、もっと良い方法はないか。
- (9) 認定心理士の資格取得に「実験・実習」の面接授業は必須ですが、茨城での開講はないので東京まで出向かなくてはなりません。東京はどの学習センターも毎回開講されており、地域の格差を感じます。それでも茨城はまだ良い方で、私が受講したときは、大阪や三重、鹿児島、北海道、四国の方もいました。皆仕事を調整し、子供を預け、飛行機代を支払い、ホテルをとって受けに来ているのです。
公の教育機関にしては、機会均等とは言えないと思います。せめて飛行機は使わずに済むように、地方毎に先生の方から来て下さればという多くの方の意見をお伝えしたいと思います。
- 単位申請は、認定試験の結果を待たずにしなければならず、なんとかならないでしょうか。結果を見てから次の計画を立てるということは、自然の流れで、現状の申請方法を、是非改善して頂きたいと思いません。
- (10) 住居及び建築関係の面接授業をお願いします。
- (11) 日曜集中面接授業あるとよい。現在ないので他学習セまで行っている。日曜日だけの休みがしかない人もいるのでコースを設けて欲しい。
- (12) 面接授業はとても印象が残っている。土日しか受けられませんでしたでしたが受けてよかった。
- (13) 年齢を重ねると記憶力が悪くなり、暗記するのに苦労するので、教材持ち込みがあったらよいと思います。
- (14) スタッフが大学のこと(手続きなど)よく理解しているのですか。
- (15) CS は地上波の影響が受けるので地上波で放送して欲しい。
- (16) ビデオ教材の図表が読めないことが多い(図表だけでもPDF やコピーできるようにして欲しい。教材は2年以内に書き直して欲しい。大学の授業で每期同じノートで講義する教師は物笑いの種になっている)。
- (17) 現在6年生です。生涯学習フイステバルは、東海村を代表して「民活の再生活動」を紹介します。皆様も興味がありましたら顔を出して下さい。私も放送大学のブースには合間に顔を出す予定です。
- (18) 面接授業はとても印象が残っています。土日しか受けられませんでしたでしたが受けて良かったと思いました。

以上